

# かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 10 No 09

110号

平成14年 9月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

## 外来小児科学会に参加して-2002-

院長

先日は、学会と慰安旅行のため、ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。参加した学会は、日本外来小児科学会で、今年は名古屋市で開催されました。この学会は小児科の開業医の先生が中心で、北は北海道から南は沖縄まで、全国から参加者が集まってきます。普通、学会という医師だけの集まりなのですが、この学会は看護師や薬剤師、事務スタッフなどが参加できる珍しいものです。

今回は、院長と看護スタッフの茂木君も発表したの、全員（三浦君は止むなく欠席）で参加することしました。どうせ名古屋まで行くのであれば、慰安旅行もかねてということになりました。さて場所をどこにするかが、大きな問題です。旅行会社からも提案はありましたが、スタッフの気持ちがわかりません。どうせ名古屋まで行くのなら、少し足を伸ばしてユニバーサル スタジオ ジャパンとの思いをもっていました。スタッフ達も相談していたようで、結局一発で決まりました。これがコミュニケーション、阿吽（あうん）の呼吸というものなのでしょうか。USJを選んだ理由は簡単でした。ディズニーランドには行けるけど、ひょっとしたら最初で最後との考えからでした。もちろん、学会に行くついでの慰安旅行であり、慰安旅行に行くついでの学会ではありません。

学会の発表について、少し紹介してみましょう。発表が6分、質問が4分、計10分が持ち時間となります。院長は「かかりつけ患者さんとの電子メールによるコミュニケーション」、茂木君は「親は何を媒体にしてクリニックを選んでいるのか」でした。1年も前から、空いている時間を見つけて、スタッフ全体で取り組んできました。どちらの内容も、患者さんとの関係が深いので、このような発表が出来ることも患者さんのお陰なのです。発表前夜は、原稿を読みながら時間を計ったり、質問を予想したりと夜が更けてしまいました。実際の発表では院長はちょっとどじってしまいましたが、茂木君は堂々と発表できました。発表する目的は、クリニックでの取り組みを紹介することが大

きな目的です。しかし、それだけではなく院長含めたスタッフ全体として一つの仕事に取り組む大切さを学ぶということも大事な目的なのです。司会の先生から、院長の発表に対しては「川村先生は日本で一番有名なホームページを持つ先生です」と紹介され、「もっとも大事なことは、魅力あるクリニック作り」とまとめた茂木君の発表に対しては、「このような内容をスタッフが発表することは素晴らしいこと。当院のスタッフにも見習わせたい」とお褒めを頂きました。この言葉でスタッフみんなの苦勞が吹き飛んだことは、言うまでもありません。



少し、USJの話をししましょう。木曜日の朝の飛行機で大阪へ、ホテルに荷物を預け海遊館（世界最大級の水族館）。水族館の帰り道にサントリーミュージアムで「ドラえもん展」を見つけ入場。大阪市内にでて道頓堀でたこ焼き、食いだおれ人形、カニの看板（足が動くやつ）、タイガースファンが飛び込む橋でグリコのネオンを背景に記念写真。最後にラーメンを食べて、ホテルへもどりました。佐藤君は旅行のツアーコン役で、大阪の名所名物だけでなく、翌日のUSJの作戦までしっかり予定を立ててきてくれました。翌日のUSJは思ったほどの混雑はなく、ひょっとしたら飲み水や食べ物の悪い評判のせいかなとも思いました。事前の十分な調査とスタッフの地道な活躍で、比較的多くのアトラクションに参加できました。「JAWS」、「Jurassic Park」、「E.T. Adventure」、「Back To The Future」、「WaterWorld」など、主なものは全て体験できました。ディズニーランドと比べると大人向けという感じがしました。久しぶり（10年ぶりかな）のテーマパーク、うわさ以上で大変満足してきました。スタッフには内緒でしたが、昨年骨折した左足が鉛のように重かったのは言うまでもありません。中米君はクリニックと同じようにリーダー役、福地君は中米君の娘さんのお守り役だったことも付け加えておきます。患者さんには、大変御迷惑をおかけしました。今回の慰安旅行と学会参加で得たものを、クリニック全体として今後の患者さんとの対応やコミュニケーションに生かしていきたいと思えます。最後に、学会に参加できるのも皆さんのご理解のおかげです。ありがとうございました。



## 9月のお知らせ

・栄養育児相談

毎週水曜 13:30から 栄養士担当 無料

・北部急患診療所担当

9月29日（日）の日中、担当します。

お困りの方は、どうぞ。



## 読者の広場

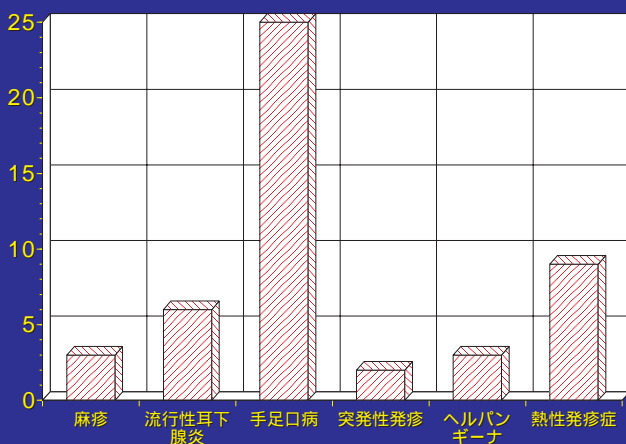
先月は、休みが多かったこともありやや少なめでしたが、20通のメールを頂きました。先月号に載せられなかった、泉区の都築さんからのものです。心配で送ったメールに対する返事のお礼です。「今日、診察を受けて、良かったです！！実家からマンションに帰る途中に、病院へ寄るかどうか、迷いました。この所、毎日通っていたし、こんなことで病院に行くのは迷惑かなとか、はずかしいかなとか考えてしまって。でも、うがいをして、薬を飲んだ後、飲み食べができるようになった！後は、今晚、ぐっすり眠れることを祈ります。子供って、急に容体が悪くなるんですねー。改まっちゃうけど。初めての子を持つお母さんにはその所の判断がなおさら難しかったり、不安な所だと思います。おばあちゃんが、昔は風邪ひいた位で、そんなにひどい症状にならなかった。とか、主人は、薬を飲ませれば、病院に頻繁に行かなくてもいいんじゃないかと、言います。そんな事言われると、まよっていたこともありましたが、以前、先生が、母親の判断で連れてきていいと言ってくれたので、すごく救われました。こんなに強い味方になってくれる先生、他に聞いたこともみたこともない！！。ありがとうございます！。この間、忙しい先生から、まさかお返事が来るとは思っていなかったで、それはもう、ひとことでは言い表せないほど、感動しました！。」。こんな先生聞いたことも見たことが無いなんて、嬉しい評価です。でも、たくさんいるはずですが。もらったメールに対しては、必ず返事を書きますよ。それが当たり前というものと思っています。続いては川崎病で入院となった青葉区区のY.Nさんからです。掲載依頼に対して、「不特定多数の方が読まれるということで、できれば匿名にさせていただきたいと思います。」との要望に応じて、今回はイニシャルのみとします。「川村先生。Y.Nの母です。いつもお世話になっております。先々週の金曜日に川崎病で国立病院にご紹介いただきましたが、お蔭様で丸2週間の入院で昨日退院できました。当初はこの子はどうなるのだろう？ととても不安でしたが、幸い軽度だったようで、グロブリンを投与せずに解熱しそのまま退院することができました。宮林先生を始め、心臓の柿澤先生や入院担当の吉成先生にもとてもよくしていただき、充分なご説明をいただきました。先生方も”川村先生に見ていただければ安心でしょう”とおっしゃっていました。インターネットなどで川崎病について調べていると何の病気か分からず病院を何件もまわり大きな病院で診断がついたころにはすでに心臓に瘤ができていた。というような例をたくさん見ました。”かわむら先生だったら見逃さないでしょう”といわれる先生の病院をかかりつけにしている本当によかったと思ったと感謝の気持ちでいっぱいです。Yは退院したのがよっぽど嬉しかったのか、昨日はとても元気にはしゃいでおりましたが、今後も熱を出すたびに不安な気持ちになることと思います。そのたびにきっと先生の所へ伺うと思います。今後ともよろしく願いいたします。また、先生に紹介状を書いていただく間に不安で少し泣いてしまったのですが、中米さんに明るく励ましていただいたこととても心強かったとお伝えいただけますか？。本日退院時の国立からのお手紙をお持ちしたのですが、お忙しそうだったのでお声をかけずに帰ってきてしまいました。つらつらと長くなってしまい申し訳ありませんでした。暑い日が続きますが、先生はじめスタッフの皆様もご自愛くださいませ。」。ともかく軽症で何よりでした。小児科の開業医の役割はもちろん病気を治療するということが、病気を見極めるということもとても大切なことです。全ての病気がクリニックで対応はできません。早く見つけ、早い対応を取ること小児科医の仕事です。またスタッフへのお褒めの言葉、ありがとうございました。これからもこのようなメールに答えられるような、クリニックにしていきたいと思ひます。



### お母さんクラブの御案内

9月9日は救急の日です。今年も好評の「あなたは大丈夫？ 救急蘇生」を消防署の御協力により開催します。蘇生体験もできます。詳しくは受付まで。

### 8月の感染症の集計



毎年同じことを書いてしまっていますが、8月は一年で一番病気が少ない月です。例年以上に手足口病やヘルパンギーナなどの夏風邪が少なさそうです。水痘が全く無くグラフには載せていません。珍しいことです。麻疹が3例見られましたが、その後の拡大はなく一安心でした。麻疹の予防接種早めに受けて下さい。

### 新刊書籍の御紹介

小児科医がやさしく教える  
赤ちゃん・子どもの病気  
定価1,350円(税別)

発行 PHP研究所

序章 先生が教える小児科の上手なかかりかた  
第1章 子どものよくかかる病気・早わかり教室



クリニックで販売出来るようになりました。必要な方には、サインも。

### みやぎ こども病院 支援コンサート

2003年こども病院がオープンします。こども病院のを支援するために、毎年コンサートを開いています。

10月18日 青年文化センター 旭ヶ丘 開場 18:30

詳しくは、ポスター、チラシをご覧ください。チケットは当院にあります。是非御協力を。

### 編集後記

先月の夏季休暇と学会慰安旅行では、知らずに来院された方も多かったと思います。実際には7月末には掲示していたのですが、久しぶりの来院の方や掲示に目が行かなかった方もいらっしまったと思います。本当に御迷惑をおかけしました。この場を借りてもう一度、お詫びいたします。

